



須賀川市

シルバーだより

令和元年8月
第68号



長沼まつり

昭和60年から始められました。

大小のねぶたやねぶた約10基が繰り出し、夜の街を幻想的に照らし出す初秋の風物詩です。

参加団体の手作りねぶたを囲み、威勢よく、跳びはねるハネトは圧巻で、よさこい踊りや、長沼音頭の踊り流しと子供みこしが、まつりをいっそう盛り上げ、毎年3万人の見物客でにぎわいます。(9月第2土曜日開催)

会員としての心得

1. 「安全はすべてに優先する」を心得て作業にあたる。
2. センターの会員として仕事の開拓、確保に努める。
3. 「顧客第一」引き受けた仕事は責任を持って誠実に成し遂げる。
4. 契約外の仕事を依頼されたら速やかに事務所へ連絡する。
5. 自分の健康管理に心がけて無理な健康状態で就業しない。
6. 仕事で知りえた情報を他にもらさない。
7. 「社会に貢献」センターの働きを通して地域に貢献する。



「地域に愛され、親しまれる シルバー人材センター」を目指して

理事長 遠藤和司

令和元年度定時総会において、理事に選出され、理事の互選により理事長に再任されました。もとより、微力であり、職責の重大さを思い、職務遂行に不安をいただきますが、長年培った経験を活かし、役職員・会員皆様方のご支援、ご協力と関係機関のご指導をいただきながら、職責を果たして参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、センターを取り巻く社会環境は超高齢化社会を迎え、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができ「生涯現役社会」を実現することが重要となっております。

また、地域社会における中核的役割を担う組織として位置づけられているシルバー人材センターが、その期待に応えて、高齢者が生きがいをもって安心して暮らせる地域社会をいかに構築するかが、課題となっております。

当センターは、公益社団法人として「地域に愛され、親しまれるシルバー人材センター」を目指し、従前から行っている

受託事業はじめ、「須賀川市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例」のもと、指定管理者制度に基づく指定管理者として、公の施設の管理運営事業を行うほか、近年は労働者派遣事業、職業紹介事業を重点事業と定め、地域社会のニーズに対応した事業を展開して参りました。

ここ数年の事業実績は順調に推移し、平成三十年度の会員数は五百七十七人、契約金額は三億円を超え、会員一人一人が多様な職種で就業、就労することが出来る状況にあります。これも偏に会員皆様の日ごろから就業・就労に取り組む姿勢・熱意・きめ細かい心配りによるものであり、心から深く感謝申し上げますとともに、センター事業に対しまして、的確なご指導、ご支援を賜りました須賀川市をはじめ関係各位に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

令和元年度は役職員・会員が一体となつて、「自主・自立・共働・共助」の基本理念に則り、令和元年度事業計画の重点事項あります、会員の増強、組織の確立強化など、積極的に推進して参りたいと考えております。終りに皆様のご多幸、ご健勝をご祈念申し上げます。して挨拶いたします。

定時総会が開催される

ご来賓の紹介

令和元年度の定時総会は五月三十一日(金)午後一時から須賀川市民温泉において一四四名が出席し盛大に開催されました。開催に先立ち遠藤理事長の挨拶及び優良会員の表彰、須賀川市安藤基寛副市長はじめご来賓の方々からご祝辞を戴きました。続いて、令和元年度事業計画・損益予算及び配分金規程の一部改正などの報告事項、平成三十年事業報告及び損益決算報告、役員報酬の制定及び費用弁償規程の一部改正する規程、理事監事の選任など五議案の審議に入り、満場一致で可決承認されました。

最後に本年度役員改選によって、新役員が選出されました。(P3下表)

ご来賓の皆様方にはご多用中、定時総会にご臨席戴きまして、ありがとうございます。ございました。

また、須賀川市副市長を始め多くの皆様にご祝辞と激励のお言葉を賜り感謝申し上げます。



須賀川市副市長 安藤基寛様
須賀川市議会副議長 大倉雅志様
衆議院議員上杉健太郎秘書 緑川理奈様
福島県議会議員 川田昌成様
福島県議会議員 宗方 保様
須賀川公共職業安定所所長 杉本真一様
社会福祉法人 溝井正男様
須賀川市社会福祉協議会会長 飛木孝久様
須賀川商工会議所専務理事 大野 篤様
須賀川市老人クラブ連合会会長 鈴木伸生様
須賀川市産業部産業部長



表彰者紹介

▼表彰

一、役員表彰

飯野 進 柳沼 功

二、会員表彰

西間木秀雄 小林忠太郎
 佐々木輝夫 齋藤澄子
 横田勝弘 大澤 進
 鳴原栄美子 小池貞子
 横山俊治 野口福子
 佐藤富子 小野口 進
 江藤 孝 堀江美代子
 豊田 均 佐藤イチ子
 服部 健

受賞者の声

役員表彰



気持ち新たに

飯野 進

令和元年度定時総会席上において、役員感謝状（三期六年）をいただき、ありがとうございます。

また、理事に選任され、今期は会員皆様方が働きやすく、過ごしやすいセンターづくりを第一に考え、理事の職責を努めていきたいと思いま

すので、皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。



何事も一生懸命

柳沼 功

この度、定時総会においてセンターの表彰規程により感謝状を頂きました。理事職責も未熟で、力不足にも関わらず大変光栄な賞を頂き、誠にありがとうございます。

また、今期も理事職に選ばれましたので、定時総会で決定されました課題について一生懸命努めて参ります。何卒、会員皆様のご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

会員表彰



悔いなき人生

小野口 進

先日、令和元年度定時総会において永年勤務表彰を受賞することができました。これはシルバーセンターの職員の方々をはじめ同じ職場で笑顔で話し合い、同じ汗を流し合った仲間達のフォローがあったればこそと感謝しております。ありがとうございます。

これからも趣味（ドライブ、読書、

短歌等）を活かしつつ、適度に身体を刺激し「リズムのある仕事及びウォーキング（一日一万歩）十七年間継続中」等、日々潤いのある生活を謳歌しながら人生百年に挑戦し続け、悔いのない我が人生を生きていきたいと思えます。



毎日が楽しい就業

鳴原栄美子

この度、令和元年度総会で十年在籍の会員表彰を賜り大変光栄に存じております。私は、平成二十一年にシルバー人材センターに入会し、事務局の方をはじめ先輩方のご指導を受け、現在はある程度の仕事をこなせるようになり、楽しく作業をさせていただいています。今後も健康に気をつけて頑張っていきたいと思えます。



丁寧な仕事「共働・共助」

令和元年度事業実績目標

項目	目標値
会員数	600人
受託件数等	4,200件
就業延日人員	58,000日人
契約金額	247,842千円
受取配分金	204,460千円
受取材料費等	12,510千円
受取事務費	16,680千円
労働者派遣手数料	14,000千円
職業紹介手数料	192千円

令和元年度 役員紹介

監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	常務理事兼事務局長	副理事長	筆頭副理事長	理事長
山田正機	成瀬邦夫	吉田ひろみ	柳沼 功	三村 栄子	関根 邦洋	長澤 泰幸	鈴木 伸生	佐藤 吉二	伊藤 征恵	石川 義彦	飯野 進	橋本 正志	加藤 恵子	遠藤和司

就任のあいさつ



信頼される事業の推進

筆頭副理事長 中山紀男

令和元年度定時総会後の、臨時理事会が開催され佐久間尊筆頭副理事長の退任に伴い後任として筆頭副理事長の大役を仰せつかりました中山紀男でございます。

微力ではありますが、会員皆様方の温かなご指導ご鞭撻を賜りまして、この職を一生懸命務めさせて頂きます。

当シルバー人材センターは会員自らが地域におけるシルバー人材センターの役割を良く認識され、安全第一の就業意欲と創意・工夫を持って活動を行い、地域社会の活性化に貢献し、発注者の皆様から信頼される事業の推進を図って参りたいと存じます。

結びに、これからは遠藤理事長を補佐し、会員皆様方が健康で就業できま



よろこばれる仕事を

理事 石川義彦

暑い中、会員の皆様におかれましては、お仕事ご苦労様です。

私はこの度、理事のお話を頂き、もっと優秀な方が多くいらっしやる中、ご遠慮申し上げたのですが、理事長からの是非とのお言葉に、微力ですが、お役に立てればとお引受け致しました。

そして、令和元年度定期総会において理事に選出されました。

私は、シルバー人材センターの基本理念「自主・自立・共働・共助」の精神と言う言葉が好きです。そして、会員の皆様にも、この言葉を考え、実行し、もっと楽しく働き、仲良く、話し合い、助け合い、良い仕事をし、お客様、事業主様に「シルバー人材センターに仕事を頼んでよかった」と言われるように、また、関係機関団体等から信頼されるよう、役員一丸となって理事長のもと頑張りたいと思います。

これから、暑い日が続きますので、皆様も健康管理に充分留意して頑張ってください。



まごころを込めた仕事を

理事 伊藤征恵

シルバー人材センター定時総会において、理事に就任しました伊藤征恵です。私は、平成十九年十月にセンターに入会し、まもなく在籍十二年目に入ります。

入会当初は、須賀川駅前駐輪場の管理業務で就業し、現在は須賀川市労働福祉会館の管理業務をローテーションにより就業しています。今期、理事に就任しセンターの事業運営に関わることになり、諸先輩理事のご指導をいただき、身体に気を配りながら微力ではありますが、センター事業の推進に努めてまいります。さらに、会員の方々が安心・安全に就労・就業ができるよう「誠心誠意」尽くして参ります。

今後とも、会員皆様方のご支援、ご協力をいただきながら、理事の務めを果たして参りますので、よろしくお願いいたします。

退任のあいさつ



言葉二つが身を助け成長を促す

前筆頭副理事長 佐久間 尊

月日は早いもので、センターにお世話になり十五年が過ぎました。この間、諸先輩をはじめ事務局・会員のご協力により、穏やかに過ごす事が出来ました。感謝しております。生涯を通して皆様に喜ばれる仕事を持つことは、最高の幸せだと日々思っています。

人間の成長とは口で言うほど簡単なものではないですが、常に私が思うことは、職場の教育が必要であると言うことです。私は会員になる前は、市内の企業に四十二年間勤務しました。その中で大切にしてきたことは、ひとつ一つの言葉の使い方でした。

我がセンターは役員はじめ職場の上司は、あたり前ですが男性・女性職員に対して名前に「さん」を付けて会話をしていることです。こうしたことが、センターの業績の向上につながり、ひいては、個々の人格の成長に生かされているように感じられます。センターの運営及び活動状況がどうかは、電話の対応一つですぐわかります。そしてその事が、自身の人間性向上にもつながり、一石二鳥の効果をもたらします。今後もお客様から信頼され慕われるセンターであってほしいと思います。最後に、センターの発展と会員皆様方のご健康をお祈りし退任の挨拶といたします。

『令和の時代』によせて



「人生百年の時代に向けて シニアの役割」

ハローワーク須賀川所長 杉本真一

本格的な夏を迎えましたが、須賀川市シルバー人材センター会員の皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。また、先の定時総会に出席させていただき、皆様の元気な姿にシルバー人材センターの益々の発展を確信したところです。

さて、国内の労働力の需給は供給不足、労働力事情や就業習慣などを背景とする労働問題の解決のため、社会全体が働き方改革に向けて工夫を重ねている最中です。このような中、働き方改革の実現のためには女性の社会参加のほか、我が国の成長力の確保のためにも、意欲ある高齢者がエイジレスに働くための就業機会の提供により、一層の高齢者の就業促進が必要です。

シルバー人材センターは「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」といった就労の場の提供から、最近では高齢者の活躍人材育成や社会参加の促進事業の運営のほか、労働者派遣事業の運営と多様な事業展開となつていくところと見られます。ハローワークとしても高齢者の継

続雇用を延長すること、具体的には六十五歳までの定年延長や同等以上の措置を定着するよう支援してまいります。最近では更に七十歳まで就業の機会を確保する方向性が示されはじめました。

時代は令和、人生百年の時代が到来しようとしています。シルバー人材センターによる多様な就業機会の提供と高齢者雇用各種制度の行政運営、これらが融合し多様な働き方を実現することにより、より多くの高齢者が活躍し働き方改革をも実効的に実現するという相乗効果が見込まれるものと考えています。

会員の皆様には、ますますご健康で活躍いただき、ますますよう祈念するとともに、引き続きこれまで培った豊富な経験や知識を活かした就業による地域貢献をお願い申し上げます。



センター談話室

「会員百万人達成計画」



公益社団法人須賀川市シルバー人材センター役職員・会員の皆様方には、日頃から当連合会の運営にご支援を賜り、また、安全就業・適正就業には特段のご配慮とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会
会長 川浪廣次

さて、福島県内は、少子高齢化が著しく進展し、人手不足が長期間続いております。

これに伴い、県内各センターには、地域を支えてほしい、人手不足分野で活躍してほしい等、各方面から様々な期待が寄せられています。

一方、各センターでは、これらの期待に応えようとしているものの、会員不足で期待に応えきれない、という実態もあります。

こういった中、全シ協では「会員百万人達成計画」を策定し、全国的な会員拡大の取り組みを呼びかけています。

この計画は、「一緒に活躍する仲間を増やして、会員百万人を目指そう、地域や地元企業の期待に応え、多くの元気な高齢者の皆さんに働きがいと生きがいを提供できるようにしよう、そして地域に根差したシルバーを目指そう」というものです。

当連合会としても、県内各センターと連携し、仲間が増えるよう様々な活動をしており、さらなる取り組みに努めることとしています。まさに、令和時代は、「一緒に活躍する仲間を増やす」その上で「様々な期待、新しい課題に対応する」というようなセンターを目指す時代となります。

貴センターにおかれましては、すでに多くの取組みを実践されているところではありますが、新しい時代の運営に一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。最後に、皆様方ますますのご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。といたします。

全シ事協、会員百万人達成計画に基づく当センター年度別目標会員数

平成30年度	537人	3.9%
令和元年度	558人	3.9%
令和2年度	580人	3.9%
令和3年度	614人	5.8%
令和4年度	650人	5.8%
令和5年度	688人	5.8%
令和6年度	728人	5.8%



注意! 「暑気中り」「食中り」「蜂中り」

安全管理委員長 関根邦洋

残暑厳しい折、会員の皆様お元気で
すか。

この時期は熱中症の話題が盛んで
すが、この対策を怠ることなく、活
力ある生活を送っていただけるよう
心より願います。

さて、この熱中症ですが、私達幼
い時から日射病や暑気中りと言っ
て母などは大根おろしを首のうしろに
あてがい涼しい所で寝かせてくれ
ていた事を思い出されます。今日では
大きく熱中症と診断され、対策とし
ては塩分やミネラル（水分）の摂取
が勧められています。

夏と言えば野外作業の事故が多く
なり「蜂刺され」「脚立転倒」「踏抜き」
「草刈機によ

る人身事故。
対物破損」等
が散見されま
す。蜂の場合
は面倒でも

「事前に作業
場所」を長い
竿か棒で突く
か叩くかして
みて下さい。



第3回安全管理委員会

蜂がいる場合は必ず威嚇に現れま
す。作業は、即中止です。

脚立は一脚だけでなく二脚に板を
渡して作業をすると安定します。草
刈機は飛び石に備え誰か一人が網戸
やベニア板などを持って随伴した方
が良いでしょう。

また、この季節食べるものにも注
意しましょう。私達小さい時から「舌
と臭い」で賞味期限を判断していま
したが、現代では食品添加物や化合
物を多く使用している食べ物が多い
ので加熱処理をしましょう。

さて、本年度は、笠井由美子さん、
関根喜二さん、善方富雄さんの三名
の方が安全管理委員会に加わりまし
た。何れの方も人格識見共に優れた
方々なので
活躍を期待
致しており
ます。

会員の皆
様方のお力
添えを切に
お願い致し
ます。



蜂石事故防止強化運動

第三回 安全・適正就業推進大会の開催

安全意識を高めた大会



表彰を受けて



大内哲夫

第三回安全・適正就業推
進大会に於いて、不肖私が表
彰の榮に浴しました。これ偏
にシルバー人材センター会
員皆様のご支援の賜と深く
感謝申し上げます。

シルバー人材センターの
事業活動は、会員が安心安全
に就業することが求められ
ており、会員一人一人が常に
その意識を高め、事故のない
安全適正就業に努めなけれ
ばならないと思います。

高齢者の就業活躍が注目
される中、私達シルバー人材
センターの会員も、健康管理
に留意し、活動の理念を基に
事業の推進と地域社会の進
展に寄与できるように会員が
力を合わせて行かなければ
ならないと思います。

大会に入り、遠藤和司理事長の大会
挨拶及び関根邦洋安全管理委員長の講
話と意義のある大会となり、安全意識
高揚の機会となりました。
今大会に於いて今年度の模範会員が
表彰され、過去の功績を称え大内哲夫
会員が表彰されました。
最後に福島県奥州二本松八幡流保存
会の皆さんによる円熟味ある神楽等が
披露され印象に残るアトラクションと
なりました。



会員
平野 松文

この欄はセンターの仲間・仕事を紹介し広く会員に参考にして頂く企画です。

今回の会員は、日本古来建物に欠かせない襖や障子などの張替え技を磨き上げた平野松文さんを紹介します。

平野さんの会員歴は、平成十二年に入会、此れまでに就業機会創出員、地域班組長、安全管理委員、更に監査とセンターの中心的役割を経歴され多大な貢献をされました。

現役退職後に我が家のメンテナンスをしようと趣味で始めた仕事ですが研究を重ねて職人技に成長されたのです。最初、センター主催の講習会に参加され、綺麗な仕事ぶりに講師も驚き、「これだけ張れるのであれば地域のお役に立ちなさい」と勧められたようです。

現役時代は銀行マン、全く異業種の道をセカンドライフワークに取り

入れる人生になりました。多くの家庭は標準的な工法になるようですが、家の経年数や家人の事業で難しさに遭遇することもあるようです。そんな平野さんに苦労話を伺うと、八年前の東日本大震災で「襖戸が外せない」「紙が良く張ってくれない」「元の位置に嵌らない」など思いも因らぬ苦労に悩まされたようです。そんな経験から平野さんは仕事に「PDCA」を取入れ、請負った仕事を終えてからでも数日後にお客様を訪ね、出来ばえを確かめるようになったようです。正に、「禍を転じて福となす」なる教訓を学ばれたようです。

この仕事請負は先ずお客様の要望をしっかりと聞いて話し合い、最終的には依頼主の希望に沿う様に仕上げることがをモットーにし、自分のイメージを強要せずに完成させて、依頼主から笑顔で「綺麗になったね」と挨拶されると安心してホッとします。

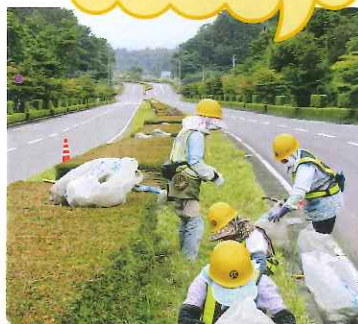
最後になりましたが、平野さんは現在須賀川市栗谷沢の自宅で奥様と趣味の詩吟やクラシック音楽を楽しみながら送る日々です。

今回は、古風な仕事、深い趣味と平野さんの人柄を紹介となりました。高齢域の年齢になって来たようですがまだまだ、頑張って仕事をされるようです。

作業風景

若い人にもこの仕事に興味があるなら是非、センターの仕事拡大に繋げる為にも希望してチャンスを活かして欲しいと広く会員に呼びかけておられました。

編集委員
取材班



完璧な安全対策



熟練された技術



飛石に気を付けて



研修レポート

福島県SC連合会主催の安全・適正就業推進大会に参加



安全管理委員
善方 富雄

本大会は七月十九日福島市の県文化センターにて、県内四十三センターが参加して開催されました。当センターからは関根安全管理委員長ほか三名の委員が参加しました。

冒頭、安全標語の応募者表彰があり、優秀賞に「安全は心のゆとりと笑顔から」が選ばれました。今年度の県連合会の安全標語となります。また、研修では東北福島病院の管理栄養士である武田氏の「健康寿命を延ばす食生活指針」の講演、理学療法士の渡辺氏からは、「健康維持体操」に関する実技指導が行われ、肩や腰の痛みの予防・改善に有効な運動を体験することができました。足踏みをしながら数を数え、三の倍数時に手をたたき体操は脳の活性化と転倒の予防につながるそうで、継続すべき運動だと思えます。

事務局よりお知らせ

▼会員紹介

平成三十年八月一日から令和元年七月三十一日までに入会されました正会員は次のとおりです。

正会員(七十二名)

- | | |
|-------|--------|
| 赤井田 昇 | 宗像敏雄 |
| 吉沢 功 | 関口輝昭 |
| 岩谷 薫 | 福田 実 |
| 八波浄二 | 西村妃佐恵 |
| 渡辺利和 | 皆川君子 |
| 関根千代子 | 熊田善雄 |
| 諸橋省三 | 関根英剛 |
| 根本米子 | 芳賀裕子 |
| 小河原保夫 | 金澤敏男 |
| 大賀 功 | 渡辺政子 |
| 小林啓子 | 鹿島イセ子 |
| 水野晶子 | 阿部好男 |
| 福本万一郎 | 遠藤演子 |
| 平林健一 | 力丸次男 |
| 真壁タミ子 | 高宮千枝子 |
| 設楽保男 | 齋藤広季 |
| 熊谷敏博 | 境田敬廣 |
| 佐藤正利 | 箭内節男 |
| 松浦正二 | 國井孝子 |
| 藤島美枝子 | 五十嵐千賀子 |
| 菅井隆徳 | 五十嵐昭二 |
| 金沢繁晴 | 大野清勝 |
| 梶 誠一 | 藤田光雄 |

- | | |
|-------|-------|
| 菅野吉子 | 平山澄子 |
| 古川 巧 | 内山ミヨ子 |
| 設楽昌久 | 深谷春美 |
| 関根雄辰 | 関根英子 |
| 古田喜美江 | 小黒金吾 |
| 渡辺 等 | 渡辺英子 |
| 江連良孝 | 根岸幸子 |
| 鈴木信子 | 木村喜昭 |
| 佐藤 隆 | 鈴木勝博 |
| 伊藤洋子 | 佐久間マサ |
| 小林信子 | 五十嵐義男 |
| 田口幸子 | 関根ノリ子 |
| 松岡正義 | 矢部京子 |

▼談話室の掲示板

会員の安全意識高揚のため掲示板が掲出されました。
安全管理委員会は、八月から蜂石防止キャンペーンを実施中です。野外作業の蜂刺防止や飛び石物損事故を撲滅する運動です。会員一人一人が「無事故・無災害」に努めてください。



無災害記録掲示板

▼健康診断書は提出しましたか？

当センターは会員の皆様の健康管理と安全就業のため、毎年、須賀川市が行う集団検診などの結果のコピー提出をお願いしています。未提出の方は、早めに提出してください。

▼我々の活動を称賛

シルバー人材センターの令和元年度定時総会に於いて、一年間の活動が、詳しく公開され、センターの活動を称賛する記事が地元新聞に掲載された。

六月五日発行「あぶくま時報」の「交差点」欄に契約金額最高三億余円の業績を評価、シニア世代の生きがい、福祉増進、地域活性化などを推進されて、請負う仕事も経験を活かして職人並みに仕上げる仕事を紹介している。結びに会員個々の力を集結して地域活性に貢献、今後に更なる期待を寄せていた。

▼ルールの大切さ

会員がお客様から受けた仕事を無断で行い日報を事後に提出する手順違反の通知があった。お客様から仕事を受けたら先ず事務所に連絡し、作業の指示を受けて作業する手順となります。

多くの会員から成る組織で大切なことはルールマナーを皆で守ること

である。一個人のルール違反が公益社団法人に傷がつき全会員の仕事に影響するようでは困る。さながら、スポーツ世界なら個人退場や参加団体全員の出場停止などの問題に発展する。楽しく、生き生きと働くシルバー会員でありたい。

あとがき

天候不順が続いておりますが体調はいかがでしょうか。



編集委員会委員に小河清彦会員が加わり五人体制となりました。これからも、紙面の内容の充実に努め、会員の皆様のご意見・ご希望を反映しながら進めてまいりますので、ご指導の程宜しくお願いいたします。

- シルバーだより編集委員
- | | |
|------|------|
| 委員長 | 佐藤吉二 |
| 副委員長 | 三村栄子 |
| 委員 | 飯野 進 |
| 委員 | 柳沼 功 |
| 委員 | 小河清彦 |

●発行
公益社団法人
須賀川市シルバー人材センター
〒九六二-〇〇二八
須賀川市茶畑町六五
TEL 〇二四八(七六)一九九二
FAX 〇二四八(七六)一九九三